

# 第12回 福祉教育研究 フォーラム

開催テーマ

「福祉教育の質的な向上をめざして

—豊かな教育内容をつくる—

日時

2019年2月9日（土）

10:00 - 16:30

場所

日本福祉大学東海キャンパス

愛知県東海市大田町川南新田229番地



名鉄常滑線「太田川」駅徒歩5分。  
駐車場のご用意はございません。公共交通機関をご利用ください。

定員

100名

参加費

1人2,000円

(愛知・三重県福祉教育研究会  
加盟校は1校あたり2,000円)  
大学院生1,000円、学部生無料

昼食を別途（1,000円）ご用意  
します（ご希望者のみ事前申し込み）

主催

第12回福祉教育研究フォーラム  
実行委員会/日本福祉大学

共催

愛知県高等学校福祉教育研究会/  
三重県高等学校福祉教育研究会

後援

全国福祉高等学校長会/愛知県  
教育委員会/三重県教育委員会/  
岐阜県教育委員会/静岡県教育委員会/  
長野県教育委員会/名古屋市教育委員会/  
一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟

申し込み

裏面参照

2019年

1月25日（金）

締切

## 第12回福祉教育研究フォーラム開催のねらい

福祉教育研究フォーラムは、青年期の社会福祉の学びを共通テーマに高校と大学が、①今日の福祉をめぐる教育諸課題の解明、②高大連携教育・教育実践の交流、③福祉教育の在り方などを通じ、高大連携による教育発展、研究充実に向けた交流・研修事業を行っています。

第12回となる今回は、新学習指導要領の導入を控え、「教育の質的向上」にスポットをあてて開催する予定です。制度だけでなく、現場の変化も絶えない社会福祉領域において、私達が社会の「変化」や「問題」をきちんと捉え、福祉の未来を担う学生に伝えていくことが、豊かな教育内容の創出、および人材の育成につながると考えています。そこで今回は、社会福祉領域に関わる新しい動きに着目し、その内容について理解を深めるとともに、教授方法についても大学教員と高校教員がともに学びあう研究協議の場としてフォーラムを進めていきたいと思ひます。

## スケジュール

1. 開会 10:00～

2. 分科会 10:15～12:15

### 第1分科会 「社会問題をどのように教材化していくか」(ワークショップ)

福祉の授業を行う時、新聞記事やニュースなどを題材にすることがあります。その際の記事の伝え方について学び、評価で使うルーブリックをグループで話し合いながら実際に作成します。

### 第2分科会 「福祉教育実践者の後進育成」(シンポジウム)

介護職をはじめ福祉関係の人材不足は、改善の傾向が見られません。で「福祉教育」の実践者はどのように育ち、どのように後継者を育てているのか、改めて考えてみたいと思ひます。

### 第3分科会 「進路指導を通して福祉の魅力をどのように伝えるか」(実践報告会)

人口減・人口高齢化への対応が大きな課題となっているわが国において、社会福祉の担い手が不足している状況です。福祉人材確保に向け、進路指導に焦点を当てて、福祉の仕事の魅力をどのように伝えるか、実践報告をもとに皆さんと一緒に考えていきます。

3. ランチタイム 12:15～13:15

4. シンポジウム 13:15～15:00 「今日の福祉の現状をどう伝えるか」

報告者 「介護ロボット・ICTテクノロジーの今」渡辺崇史氏(日本福祉大学健康科学部 教授)

「災害ソーシャルワーク」佐藤大介氏(日本福祉大学全学教育センター 助教)

「0歳から100歳までの地域包括ケア」原田正樹氏(日本福祉大学社会福祉学部 教授)

コーディネーター 小林洋司氏(日本福祉大学社会福祉学部 准教授)

5. 総括講演 15:15～16:20

「福祉系高等学校の教育の質をどう高め、教育内容を豊かにしていくか」

講師 矢幅 清司氏(文部科学省初等中等教育局 視学官)

6. 閉会 16:30

## お問い合わせ事務局・お申込み方法

日本福祉大学 福祉教育研究フォーラム係

〒460-0012 名古屋市中区千代田5丁目22番35 北館1階

下記申込内容を明記の上、下記メールアドレスからお申込み下さい。

(右記QRコードからも専用フォームでお申込みいただけます)

①所属②お名前③ご住所④ご連絡先(電話番号)⑤ご所属(教員or一般or大学院or大学・高校生)

⑥昼食希望(有・無)※1,000円⑦希望分科会(第1・第2・第3)⑧特記事項

申し込み先電子メールアドレス E-mail forum18@ml.n-fukushi.ac.jp (※お寄せいただいた個人情報は、本事業のみに使用いたします)

